

がん患者における大動脈弁狭窄症に対する TAVI の予後についての検討
(後ろ向き観察研究)

**Outcomes of Transcatheter Aortic Valve Implantation (TAVI) for Aortic Valve
Stenosis in Cancer Patients**

研究の概要

大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) は、近年広く普及してきています。がん患者さんであっても、がんの予後が見込める場合に TAVI の適応になることがあります。一方で、がん患者に対する TAVI の予後のデータは十分であるとは言えません。本研究は、がん患者さんにおける TAVI の予後を調査し、今後の診療に役立てることを目的としています。

患者さんをお願いしたいこと

基本的には過去の日常臨床で行われた検査結果の調査です。研究のためにこれから患者さんの負担となるような行為はありませんし、この調査の対象となっていることによって、研究的な投薬や治療が行われることはありません。

資料・情報を利用する者、管理する者

研究責任者：坂本二郎ならびに共同研究者である当院の循環器内科医員が資料・情報を利用する。管理は研究責任者が行う。

資料・情報の利用対象、項目、目的および利用方法

対象：当院で 2014 年 6 月から 2023 年 12 月までに TAVI を施行した方

項目：過去のカルテからの情報で、がんの診断名、使用した薬剤、バイタルサイン、血液検査所見、心エコー検査所見、心電図検査所見、TAVI の手術所見、臨床転帰など

目的：がん患者における TAVI の予後を調査する。

方法：上記研究者が院内でカルテを参照する。他の機関へ資料・情報は提供されない。

研究内容の開示について

研究計画書や、研究に関する資料は、他の患者さんの個人情報保護に抵触しない限り閲覧が可能です。

研究結果の発表について

本研究の結果が、学会や医学誌で発表される場合がありますが、患者さんの氏名、生年月日、住所などの、個人を特定できる情報、プライバシーにかかわる情報は一切公開されません。また、研究の途中過程においても匿名化され、これらの情報が漏れることのないように細心の注意を払っております。

研究の拒否について

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止することができます。つまり、上記条件に該当する患者さんの中で、本研究への協力を拒否される場合は、本人、代理人の求めに応じて、いつでも参加を取りやめることができます。その際、下記に記しました連絡先に御一報ください。なお、拒否されることで患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

当院における本研究の責任者：循環器内科 坂本 二郎

連絡先：天理市三島町 200 天理よろづ相談所病院 循環器内科

電話番号：0743-63-5611